2025年11月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項　　目	記　　載　　内　　容
論文・総説		
1	著者名	Bradley B[1], Nashimoto Y[2], Gonzalez-Lopez A[1], Hori T[2], Kaji H[2], Davies PL[3], Escobedo C[1]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] QuSENS LaboratoryDepartment of Chemical EngineeringQueen's University [2] Department of Diagnostic and Therapeutic Systems EngineeringLaboratory for Biomaterials and Bioengineering (LBB)Research Center for Autonomous Systems Materialogy (ASMat)Institute of Integrated Research (IIR)Institute of Science Tokyo [3] Department of Biomedical and Molecular SciencesQueen's University
	論文題名	Directed Navigation of Magnetotactic Bacteria via Magnetotaxis in a 3D Vasculature-On-A-Chip
	雑誌名、巻（号）、ページ、年	Adv. Mater. Technol, 2025;e01871:1-11.
2	著者名	Kobayashi H[1], Fukuhara K[2], Ohno A, Hirao Y[1,3], Katoh H[4], Mori Y[1], Kawanishi S[5], Murata M[1,6], Oikawa S[7]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] Department of Environmental and Molecular Medicine, Mie University Graduate School of Medicine [2] Division of Organic and Medicinal Chemistry, School of Pharmacy, Showa Medical University [3] Mie Prefectural College of Nursing [4] Division of Plant Functional Genomics, Advanced Science Research Promotion Center, Organization for Research Initiative and Promotion, Mie University [5] Faculty of Pharmaceutical Science, Suzuka University of Medical Science [6] Graduate School of Health Science, Suzuka University of Medical Science [7] Department of Environmental and Molecular Medicine, Mie University Graduate School of Medicine
	論文題名	The Chinese herb component salvianolic acid B induces copper-mediated reactive oxygen species generation and oxidative DNA damage
	雑誌名、巻（号）、ページ、年	Genes Environ. 2025;47(1):20.

学会発表・セミナー発表		
1	発表者名（ポスター）	坂田真史[1], 中津祐一郎[2], 川瀬みゆき[2], 柿崎正敏[2], 堀武志[3], 西真由子[1], 鈴木聡志[1], 永井美智[1], 田鍬修平[4,5,6], 大倉喬[2], 白戸憲也[2], 高橋龍樹[7], 神谷亘[7], 松浦善治[4,5,6], 梶弘和[3], 梁明秀[1,2], 森嘉生[1]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1]国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所　バイオインフォマティクス・オミクス研究部 [2]国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所　呼吸器系ウイルス研究部 [3]東京科学大学　生体材料工学研究所 [4]大阪大学　感染症総合教育研究拠点 ウイルス制御学 [5]大阪大学　微生物病研究所　ウイルス制御学 [6]大阪大学　ワクチン開発拠点先端モダリティ・DDS研究センター [7]群馬大学　医学系研究科　生体防御学分野
	演題名	新規風疹ウイルス感染受容体は呼吸器上皮細胞および合胞体性栄養膜細胞における風疹ウイルス感染に重要である
	学会名, 発表年月及び場所	第72回日本ウイルス学会学術集会 (2025.10.28, 浜松)
1	発表者名（ポスター）	佐竹里野[1]，徳永朱莉[1]，木下啓[1]，岩佐帆乃夏[2]，波多野浩太[2]，中村伸昭[2]，足利太可雄，安部賀央里[1,3]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1]名古屋市立大学大学院 薬学研究科 レギュラトリーサイエンス分野 [2]ホーユー株式会社 総合研究所 [3]名古屋市立大学大学院 データサイエンス研究科
	演題名	Next Generation Risk Assessment 事例研究： 酸化染料を用いた定量的皮膚感作性リスク評価
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会 第38回大会 (2025.11.1, 横浜)
2	発表者名（ポスター）	浦本七海[1]，足利太可雄，尾形信一[2]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1]横浜国立大学 環境情報学府 [2]横浜国立大学 環境情報研究院
	演題名	h-CLAT を用いた発熱性物質に応答するCD54の発現経路の解析
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会 第38回大会 (2025.11.1, 横浜)
3	発表者名（ポスター）	坂本玲奈[1]，大野彰子，足利太可雄，飯島一智[2,3]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1]横浜国立大学大学院 理工学府 [2]横浜国立大学大学院 工学研究院 [3]横浜国立大学 先端科学高等研究院
	演題名	イオン溶出および細胞内取り込みに着目した酸化亜鉛ナノ粒子によるTHP-1細胞活性化メカニズムの解析
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会 第38回大会 (2025.11.1, 横浜)
4	発表者名（ポスター）	戸田翔太[1]，溝口出[1]，山口夏輝[1]，堀尾江里[1]，宮川聡美[1]，片平泰弘[1]，五十嵐美樹[1]，曲寧[1]，黒田悦史[2]，足利太可雄，善本隆之[1]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1]東京医科大学 医学総合研究所 [2]兵庫医科大学 免疫学講座
	演題名	ナノ粒子の免疫毒性評価に応用可能なヒト肺胞マクロファージ様細胞株の開発
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会 第38回大会 (2025.11.1, 横浜)

5	発表者名（ポスター）	岩佐帆乃夏[1]，波多野浩太[1]，佐竹里野[2]，徳永朱莉[2]，木下啓[2]，中村伸昭[1]，足利太可雄，安部賀央里[2,3]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1]ホーユー株式会社 総合研究所 [2]名古屋市立大学大学院 薬学研究科 レギュラトリーサイエンス分野 [3]名古屋市立大学大学院 データサイエンス研究科
	演題名	皮膚感作性強度予測モデルを使用した混合物の感作性強度評価
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会 第38回大会 (2025.11.2, 横浜)
6	発表者名（ポスター）	石橋直樹[1]，大野彰子，足利太可雄，飯島一智[2,3]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1]横浜国立大学大学院 理工学府 [2]横浜国立大学大学院 工学研究院 [3]横浜国立大学 先端科学高等研究院
	演題名	シリカナノ粒子によるTHP-1細胞活性化における酸化ストレスと吸着イオンの影響
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会 第38回大会 (2025.11.2, 横浜)
6	発表者名（ポスター）	姜斌[1]，堀武志，大杉勇人[2]，片桐さやか[2]，梨本裕司[1]，有馬隆博[3]，梶弘和[1]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1]東京科学大学 総合研究院 [2]東京科学大学 国際医工共創研究院 口腔科学センター [3]東北大学大学院 医学系研究科
	演題名	歯周病が低出生体重児出産のリスク因子となる機構の解明
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会 第38回大会 (2025.11.2, 横浜)
6	発表者名（ポスター）	鶴見文太朗[1]，佐藤優輝[2]，梨本裕司[1]，大杉勇人[3]，堀武志，片桐さやか[2]，梶弘
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1]東京科学大学 総合研究院 生体工学研究所 [2]中央大学 理工学部 [3]東京科学大学 国際医工共創研究院 口腔科学センター
	演題名	Organ-on-a-chip を用いた三次元歯肉モデルの構築における組織の安定性評価
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会 第38回大会 (2025.11.2, 横浜)
7	発表者名（ポスター）	許家誠[1]，堀武志，Omondi OK[2]，鶴見文太朗[3]，吉田昭太郎[3]，梨本裕司[4]，梶弘
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1]東京科学大学 医歯学総合研究科 生命理工医療科学専攻 [2]パデュー大学 ウェルドン生物医学工学部 [3]中央大学 理工学研究科 電気電子情報通信工学 [4]東京科学大学 総合研究院 自律システム材料学研究センター
	演題名	培養肉の組織構築を促進する可食性キトサン足場の開発
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会 第38回大会 (2025.11.2, 横浜)
6	発表者名（口頭）	足利太可雄
	演題名	化粧品・医薬部外品の安全性評価における代替法の開発動向　―局所毒性を中心に―
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会 第38回大会 (2025.11.3, 横浜)

8	発表者名（口頭）	足利太可雄
	演題名	化粧品におけるNAMs技術の受け入れ状況とこれから　―全身毒性を中心に―
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会 第38回大会 (2025.11.3, 横浜)
9	発表者名（ポスター）	Afzal M[1], Hori T, Okae H[2], Nashimoto Y[1], Arima T[1], Kaji H[1]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] Department of Diagnostic and Therapeutic Systems Engineering, Laboratory for Biomaterials and Bioengineering (LBB), Institute of Integrated Research (IIR), Institute of Science Tokyo [2] Department of Trophoblast Research, Institute of Molecular Embryology and Genetics, Kumamoto University [3] Department of Informative Genetics, Environment and Genome Research Center, Tohoku University Graduate School of Medicine
	演題名	Development of microphysiological systems to recapitulate placental vascular remodeling by extravillous trophoblasts
	学会名, 発表年月及び場所	第47回日本バイオマテリアル学会大会 (2025.11.9-11, 東京)
10	発表者名（ポスター）	鈴木亜由美[1], 仲尾祐輝[2], 森慎子[2], 堀武志, 梨本裕司[1], 森雄太郎[2], 梶弘和[1]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] 東京科学大学 生体材料工学研究所 [2] 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科
	演題名	慢性腎臓病の病態理解に資する腎臓模倣システムへの初代近位尿細管上皮細胞の実装
	学会名, 発表年月及び場所	化学とマイクロ・ナノシステム学会　第52回研究会 (2025.11.10-13, 宇都宮)
11	発表者名（口頭）	足利太可雄
	演題名	NAMの行政利用に関する国際動向とJaCVAMの戦略
	学会名, 発表年月及び場所	日本環境変異原ゲノム学会 第54回大会 (2025.11.23, 静岡)
12	発表者名（口頭）	Ashikaga T, Mizoguchi I[1], Yoshimoto T[1]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] Department of Immunoregulation, Institute of Medical Science, Tokyo, Medical University
	演題名	Development of Integrated Approaches to Testing and Assessment for respiratory sensitization based on the AOP
	学会名, 発表年月及び場所	International Conference on Stem Cell and Organoid Biology (ICSCOB-25) (2025.11.25-26, Oslo, Norway)